

1	(1)	36	(2)	199	(3)	101	(4)	111
	(5)	6	(6)	115	(7)	40 (cm)	(8)	302 (L)
	(9)	5 (日)	(10)	42 (m)	(11)	18 (cm)	(12)	206 (ページ)

2	(1)	16 cm	(2)	72 cm
---	-----	-------	-----	-------

3	(1)	400 円	(2)	8 つ
---	-----	-------	-----	-----

4	(1)	5 (時)	(2)	15 (分)
---	-----	-------	-----	--------

5	(1)	13 才	(2)	7 才
---	-----	------	-----	-----

6	(1)	18 こ	(2)	31 こ
---	-----	------	-----	------

1 (4) $113 + 53 - 55 = 111$
2へる

(5) $104 - 98 = 6$

(6) $302 - 187 = 115$

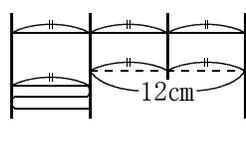
(7) $100\text{mm} = 10\text{cm}$ $1\text{m} = 100\text{cm}$
 $10 + 100 - 70 = 40\text{(cm)}$

(8) $3000\text{dL} = 300\text{L}$
 $300 + 2 = 302\text{(L)}$

(9) $3\text{週間} = 7 \times 3 = 21\text{(日)}$
 $21 - 16 = 5\text{(日)}$

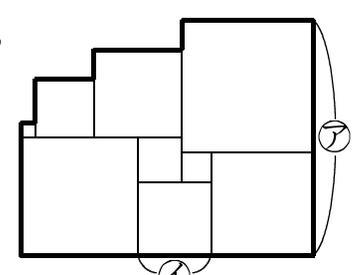
(10) 6m の間の数は、 $8 - 1 = 7$ (つ)ある。
 $6 \times 7 = 42\text{(m)}$

(11) 右の図のようにまとめられる。
 $12 = 6 \times 2$
 よって、 $6 \times 3 = 18\text{(cm)}$



(12) $234 + 126 = 360$ (ページ)…半分
 $360 + 360 = 720$ (ページ)…3冊の合計
 $720 - 234 - 280 = 206$ (ページ)

2 (1) よこぜん横全体の長さから考える。
 図の①が $2 + 1 = 3\text{(cm)}$ のとき、横全体の長さは $5 + 3 + 4 = 12\text{(cm)}$ で、残りの4つの正方形は6, 7, 8, 9cmで長さの合計が合わない。同じく②が $3 + 1 = 4\text{(cm)}$ のとき、横全体の長さは $7 + 4 + 5 = 16\text{(cm)}$ で、残りの4つの正方形は2, 6, 8, 9cmで長さの合計が合わない。③が $4 + 1 = 5\text{(cm)}$ のとき、横全体の長さは $8 + 5 + 7 = 20\text{(cm)}$ で、残りの4つの正方形は1, 4, 6, 9cmで長さの合計が20cmでこれは正しい。よって、④が $7 + 9 = 16\text{(cm)}$ 。なお、①が $4 + 1 = 5\text{(cm)}$ のときも、横全体の長さは $9 + 5 + 6 = 20\text{(cm)}$ で、残る4つの正方形は2, 3, 7, 8cmで長さの合計は20cmになるが、右上の正方形の1辺が7cmになりおかしい。

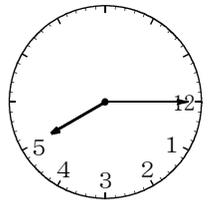


(2) (1)より、たてが16cm、横が20cmで、
 $16 + 20 = 36\text{(cm)}$ $36 + 36 = 72\text{(cm)}$

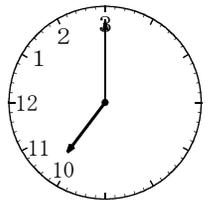
3 (1) $1600 - 700 = 900\text{(円)}$
 $5 - 2 = 3$ (つ) ケーキ3つで900円。
 $900 = 300 \times 3$
 よって、ケーキ1つは300円。
 $700 = 300 + 300 + 100$ で、
 かざりは100円。 $300 + 100 = 400\text{(円)}$

(2) $2500 - 100 = 2400\text{(円)}$
 $2400 = 300 \times 8$ よって、8つ。

4 (1) 長針の場所に12と書き、そのままそれ以外の数を順番に書くとよい。
 図より、5時0分。



(2) 短針が10と11の間になるように書き、そのままそれ以外の数を順番に書くとよい。
 図より、 $5 \times 3 = 15$ (分)



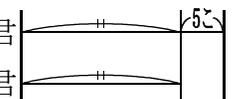
5 (1) $3 + 2 = 5$ (才)
 $5 \times 3 = 15$ (才)…2年後のあけみさん
 $15 - 2 = 13$ (才)

(2) $3 + 3 = 6$ (才) $13 + 3 = 16$ (才)
 $16 - 6 = 10$ (才)…3年後のかなめさん
 $10 - 3 = 7$ (才)

6 (1) あつき君がかずや君に半分わたすと、あつき君の残りのビー玉と、あつき君からかずや君にわたしたビー玉のこ数が同じなので、2人の差はもともとかずや君が持っていた分のビー玉となる。
 よって、18こ。

(2) $18 = 9 \times 2$ より、かずや君がさとし君にわたすビー玉は9こ。ビー玉を9こもらうとさとし君があつき君より4こ多くなるので、もともとの差は $9 - 4 = 5$ (こ)とわかる。

右の図より、
 $85 - 18 = 67$ (こ) あつき君
 $67 - 5 = 62$ (こ) さとし君
 $62 = 31 + 31$ より、さとし君は31こ。



(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10